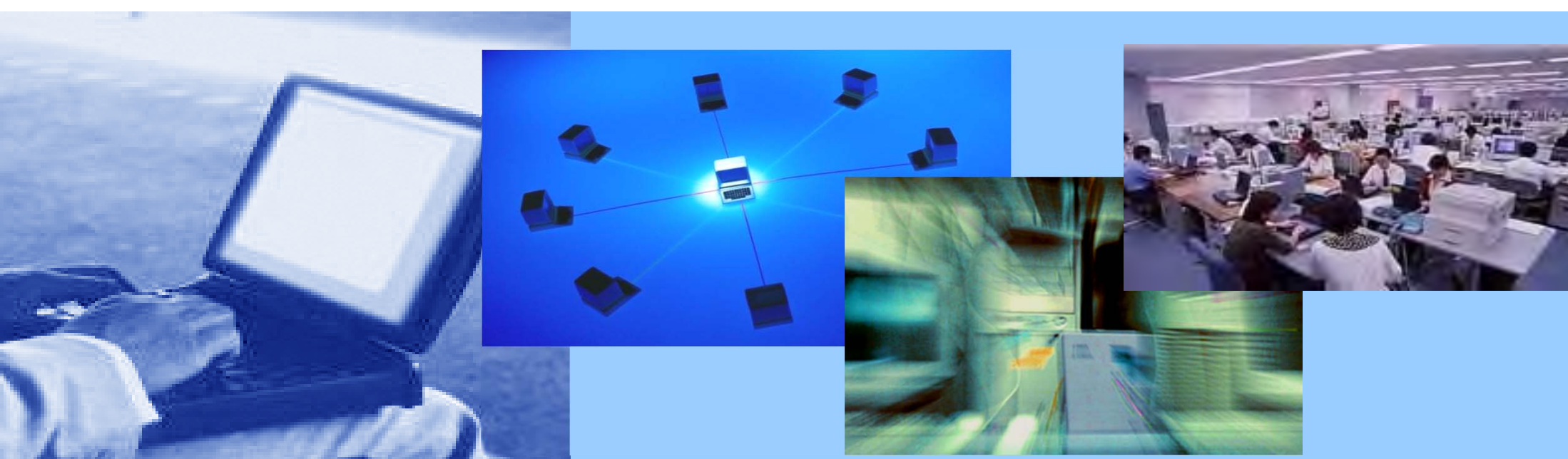




# 個人投資家向け説明会

平成27年 7月 15日



株式会社 東邦システムサイエンス

証券コード：4333 東証一部

# 会社概要・沿革

**社 名**

株式会社東邦システムサイエンス

**設 立**

昭和46年6月（1971年）

**本社所在地**

東京都文京区小石川

**上場取引所**

東京証券取引所 市場第一部

**資本金**5億2,658 万円  
(平成27年3月末日現在)**発行済株式数**13,865,992 株  
(平成27年3月末日現在)**単元株式数**

100株

**事業内容**

1. ソフトウェア開発 97.2 % ※
2. 情報システムサービス等 2.8 % ※

**特 徴**

金融コア型経営

**売上高**

12,567 百万円 ※

**経常利益**

1,162 百万円 ※

**当期純利益**

663 百万円 ※

**総資産**

8,340 百万円 ※

**純資産**

4,806 百万円 ※

**従業員数**

537 名 ※

※ 平成27年3月期

|          |                                         |
|----------|-----------------------------------------|
| 昭和46年 6月 | 東邦生命保険相互会社の関連会社として株式会社東邦計算センター設立        |
| 平成元年 4月  | 株式会社東邦システムサイエンス（TSS）に商号変更               |
| 平成11年 6月 | 株式会社ティエスエス・データ・サービス（連結子会社）を設立           |
| 平成13年12月 | JASDAQ市場（現東証JASDAQ）に株式を店頭登録             |
| 平成16年 2月 | ISO9001 認証取得                            |
| 平成17年 4月 | 株式会社中野ソフトウェア・エースと合併                     |
| 平成17年12月 | 株式会社テムス営業全部譲受け                          |
| 平成19年 1月 | プライバシーマーク取得                             |
| 平成19年 3月 | 東京証券取引所市場第二部に株式を上場                      |
| 平成21年 4月 | 株式会社インステクノの株式取得（100%子会社化）               |
| 平成23年 4月 | 株式会社インステクノ、株式会社ティエスエス・データ・サービスを<br>吸収合併 |
| 平成26年 3月 | 東京証券取引所市場第一部に指定                         |

# 当社が携わる業界と業務内容

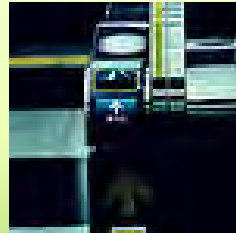
ITは身近なところにあり、便利で豊かな生活を支えています。



インターネット



地図情報



自動改札



ATM



航空券予約



気象情報

情報サービス産業は、顧客のパートナーとして、顧客のビジネスをIT面で支援し、社会や暮らし全般を支える基幹産業となっています。

当社はその業界に携わるSlerとして、金融業界を中心とした多様なお客様に対し、さまざまなサービスを提供してまいりました。

Sler（システムインテグレータ）：顧客の業務内容を分析し、**付加価値向上や課題解決のための**情報システムの企画、立案から設計、プログラムの開発、必要なハードウェア・ソフトウェアの選定・導入、完成したシステムの保守・管理までの業務を一括請負する情報通信企業。



# 当社システム開発実績(例)

現代社会において生活するうえで欠かせない、ITを利用したさまざまなシステムの設計・開発・運用・保守業務に携わっています。

生命保険システム  
損害保険システム



証券システム



配電管理システム



郵便取引管理システム



地震速報システム



インターネット  
バンキングシステム



## 豊富な業務システム開発実績

|       |                                                                    |
|-------|--------------------------------------------------------------------|
| 生命保険  | 個人保険、団体保険、企業年金、支払、収納、保全、営業支援、数理統計、新契約 他                            |
| 損害保険  | 契約管理、積立契約管理、保険料収納・精算管理、損害調査、代理店サービス、個人年金 他                         |
| 銀行    | インターネットバンキング、資産運用、リスク管理、収益管理、顧客管理、外国為替 他                           |
| 証券    | 株式注文、約定、照合、決済、口座管理、権利配当、取引残高報告書、F×システム、インターネットトレード、デリバティブ取引、外国証券 他 |
| 共済組合  | 生命共済、火災共済、交通災害共済、医療共済、介護保険 他                                       |
| クレジット | 入会審査、与信審査、延滞債権管理、サービサー、クレジットセンター、CTI 他                             |
| 情報通信  | モバイル料金案内・料金シミュレーション、モバイルクラウドサービス、スマートフォン決済、インターネットプロバイダー顧客管理 他     |
| 運輸    | 鉄道車両検収・資材管理、旅行会社向け次世代システム、航空会社国内線予約システム 他                          |
| 電力    | 配電管理、工務管理、高圧配電線事故情報、分散電源機器管理、低圧系管理 他                               |
| その他   | 郵便取引管理システム、健康保険現金給付システム、気象データ配信システム 他                              |



# 当社の強み

～高い技術と業務に精通した「システム開発のプロ集団」～

当社は、元生命保険システム子会社の強みを活かし、金融全般のシステムでは技術と業務に精通した「システム開発のプロ集団」と、お客様から高い評価を頂いております。  
当社の強みを更に強固なものとし、今後もお客様に信頼されご期待にお応えするシステムを提供してまいります。

## 1. 顧客業務に精通したシステム提案力とシステム構築力

- ・ 高いIT技術力（IT系 のべ969資格を取得）※平成27年6月時点
- ・ 特に金融系業務に対する豊富な業務知識と経験（金融系 のべ378資格）※平成27年6月時点
- ・ 高度、大型のプロジェクトを成功に導くプロジェクト・マネジメント力
- ・ 品質への徹底したこだわりと、顧客満足度最重視のコミュニケーション

## 2. 多数の優良顧客との取引

- ・ 日本を代表する大手金融機関各社（生命保険、損害保険、証券、銀行）
- ・ 公共サービス企業（電力、放送、新聞、自治体）
- ・ 大手SIer（各社との中核パートナー契約の締結）
- ・ コンピュータメーカー（各社ユーザー会メンバー、情報の共有）

## 3. 主要Sierとのパートナー契約

### (株)野村総合研究所

|         |         |
|---------|---------|
| e/パートナー | 平成16年3月 |
|---------|---------|

|           |         |
|-----------|---------|
| e-e/パートナー | 平成20年4月 |
|-----------|---------|

### 日本ユニシス(株)

|                    |         |
|--------------------|---------|
| ユニシス・ビジネス・コア・パートナー | 平成15年6月 |
|--------------------|---------|

### (株)エヌ・ティ・ティ・データ

|           |          |
|-----------|----------|
| ビジネスパートナー | 平成21年10月 |
|-----------|----------|

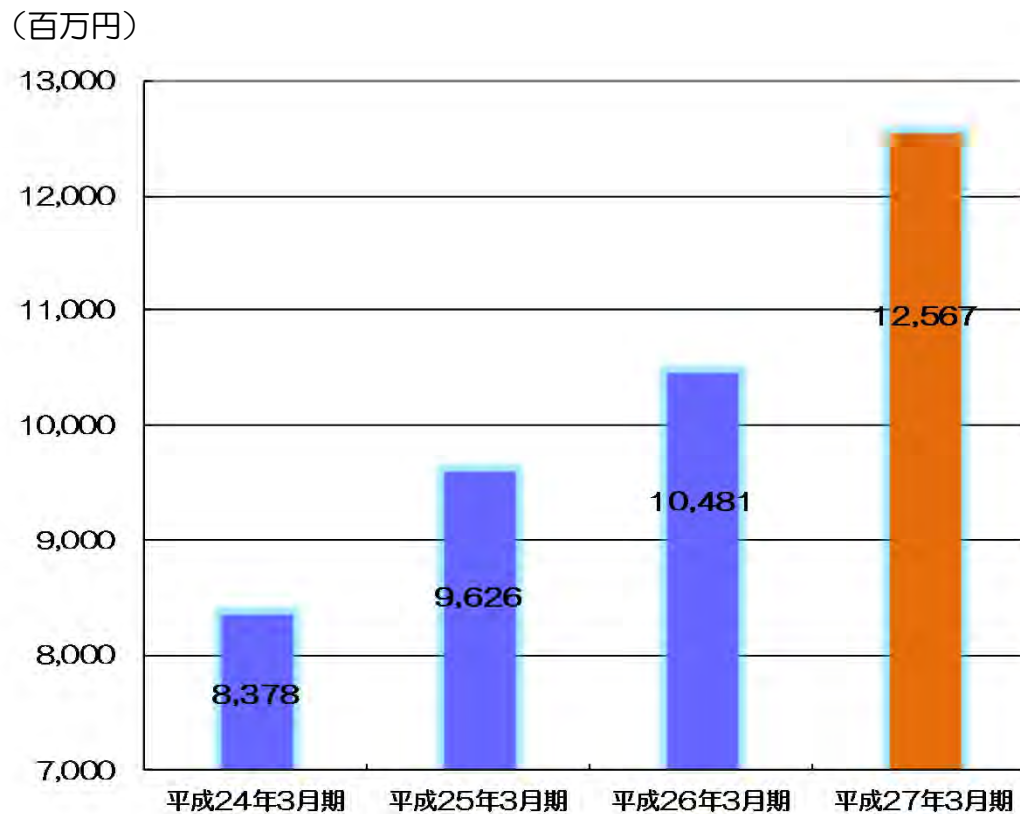


「技術力」、「専門性の高い業務ノウハウ」、「高度なセキュリティレベル」等をご評価いただき、主要Sier様が ビジネスのパートナーとして当社を選定

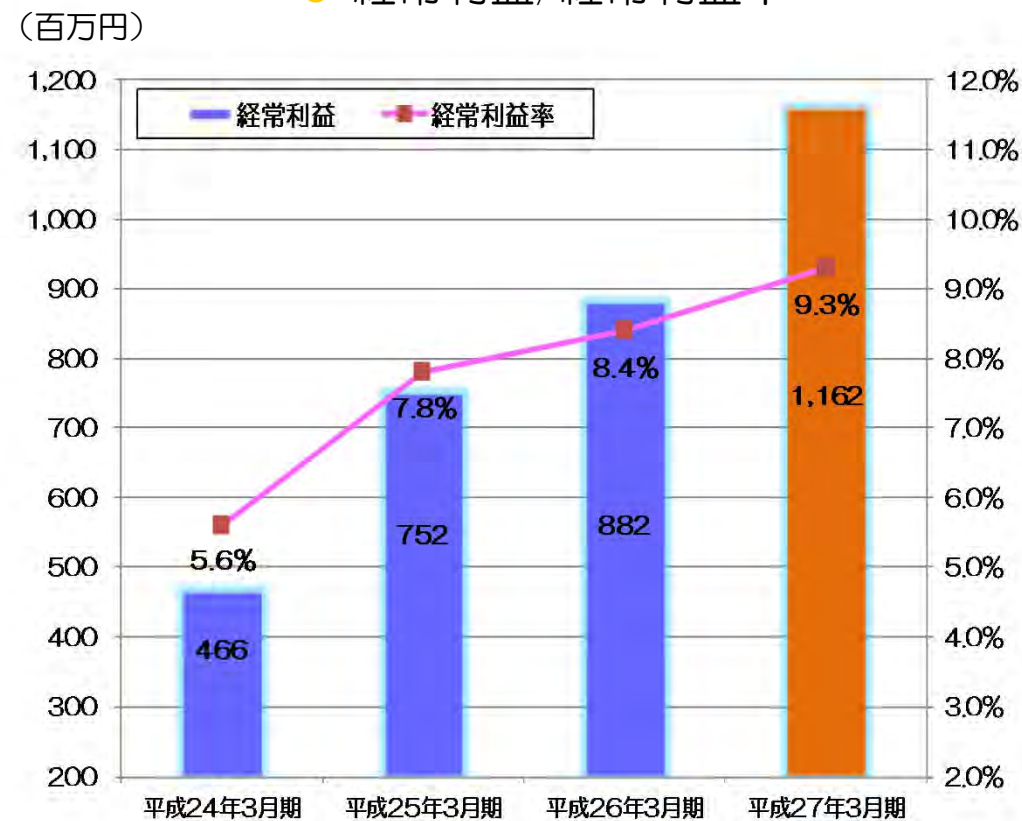
## 業績推移（概況）と見通し

## 業績推移

### ● 売上高



### ● 経常利益/経常利益率

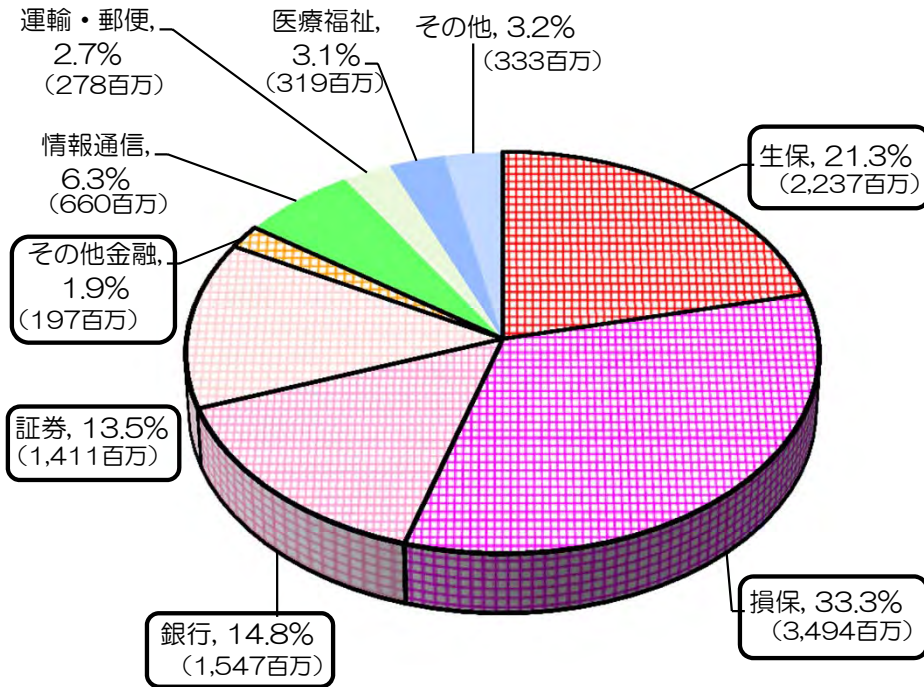


増収増益で売上高、経常利益ともに過去最高



# 業種別売上高・構成比

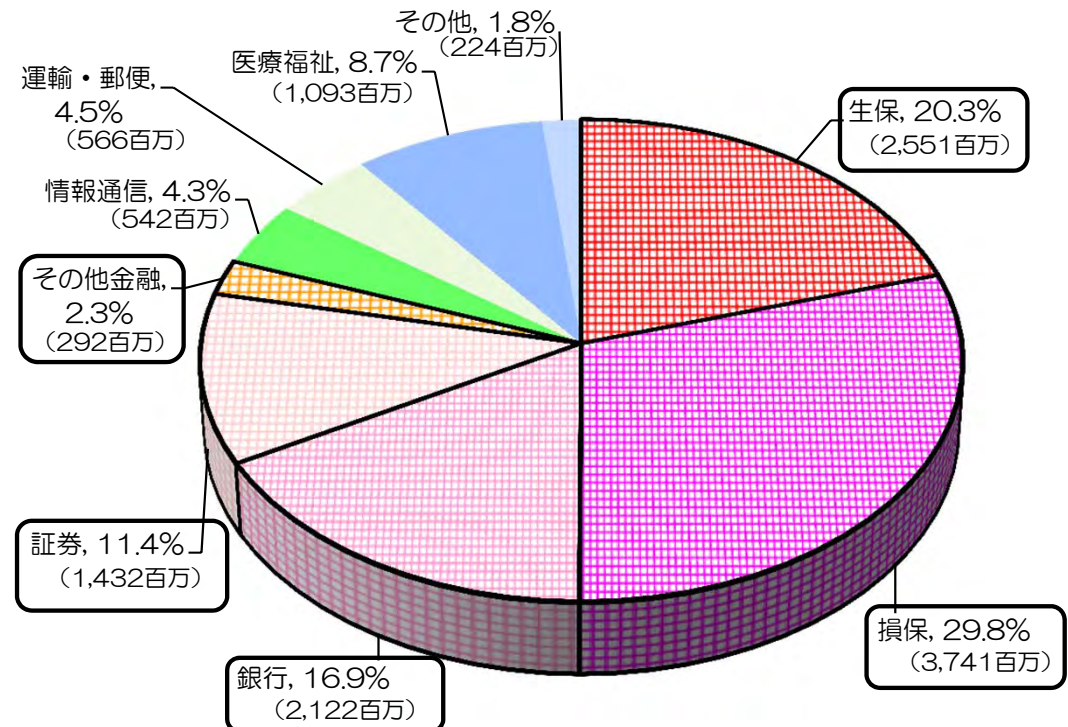
平成26年3月期



売上高：10,481百万円  
金融関連：84.8%(8,889百万円)

 は、金融系業種

平成27年3月期



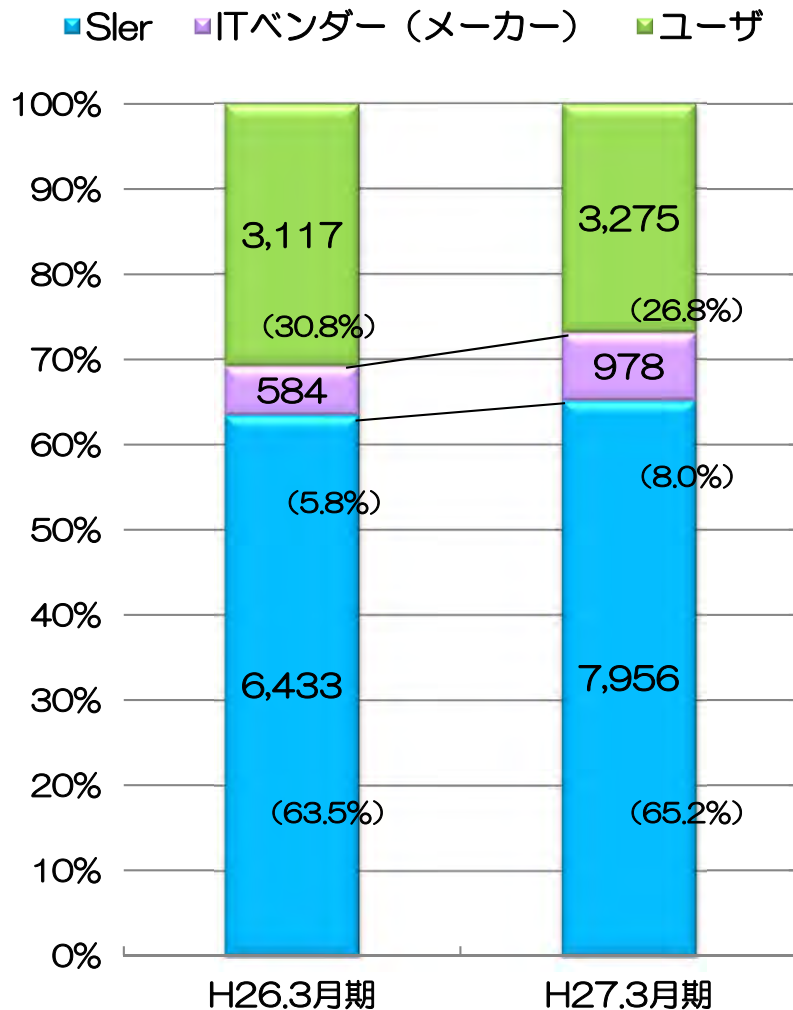
売上高：12,567百万円  
金融関連：80.7%(10,140百万円)

金融系：メガバンク統合案件、金融所得課税の一体化対応等で銀行系業務の受注が増加、生保系業務の継続案件拡大  
損保系業務・証券系業務も堅調に推移  
金融系以外：通信系業務が縮小するも、福祉系業務、郵便系業務が大幅に増加



# 受注先別売上高・構成比(ソフトウェア開発)

(単位：百万円)



|                  | H26.3月期           | H27.3月期           | 増減                   |
|------------------|-------------------|-------------------|----------------------|
| Sler             | 6,433<br>(63.4 %) | 7,956<br>(65.2 %) | +1,523<br>(+1.7ポイント) |
| ITベンダー<br>(メーカー) | 584<br>(5.8 %)    | 978<br>(8.0 %)    | +394<br>(+2.2ポイント)   |
| ユーザ              | 3,117<br>(30.8 %) | 3,275<br>(26.8 %) | +158<br>(Δ3.9ポイント)   |
| 計                | 10,135<br>(100 %) | 12,211<br>(100 %) | +2,075<br>(-)        |

## 売上高上位3社

( )内は構成比、前期比増減

1. (株)野村総合研究所 **Sler**  
47億56百万円( 37.8%、32.2%増 )
2. 新日鉄住金ソリューションズ(株) **Sler**  
9億66百万円( 7.7%、39.2%増 )
3. AIU損害保険(株) **ユーザ**  
9億18百万円( 7.3%、138.7%増 )

※ユーザ（発注する大元のお客様）から受注する案件については、大手Slerやメーカー（ハードウェアを製造するコンピュータメーカー系のSler）から受注する案件よりも利益が大きくなる傾向があります。当社はユーザからの受注案件拡大、構成比アップを目指します。

(単位：百万円)

|                 | H27.3月期実績        | H28.3月期計画        | 増減額  | 前期比増減率(%) |
|-----------------|------------------|------------------|------|-----------|
| 売上高             | 12,567           | 13,000           | +432 | +3.4 %    |
| 営業利益<br>(営業利益率) | 1,155<br>(9.2 %) | 1,200<br>(9.2 %) | +44  | +3.8 %    |
| 経常利益<br>(経常利益率) | 1,162<br>(9.3 %) | 1,206<br>(9.3 %) | +43  | +3.7 %    |
| 当期純利益           | 663              | 760              | +96  | +14.6 %   |

## 増収増益の実現に向けた活動

- 新規ビジネスモデル創出や品質・生産性改革に積極的に投資
- 顧客ニーズを捉えた「モノ作り力」を強化し、高い付加価値と圧倒的な品質・生産性を実現して既存ビジネスを拡大

# 2015～2017年度 中期事業計画 トリプル30プラン

## 日本経済

先行きについては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、原油価格下落の影響や各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外景気の下振れなど、我が国の景気を下押しするリスクに留意する必要がある。

## 情報サービス業

- ・ 3月の売上高は前年同月比4.9%と20ヶ月連続の増加となり、引き続き好調に推移
- ・ 企業のソフトウェア投資は回復基調が継続
- ・ オープン化・クラウド化の進展等により、システム開発技術は多様化、複雑化、高度化
- ・ マイナンバー対応で業界全体での特需が見込める
- ・ IT技術者不足は解消せず、人材確保が厳しい状況

## 当社の状況

- ・ 銀行、証券は金融所得課税の一体化対応や銀行窓販システムなどで受注が増加
- ・ 生保は大手顧客の継続的な保守や運用で堅調に推移
- ・ 損保は統合対応や保守案件の増加などで堅調に推移
- ・ 金融以外の福祉や郵便業務は開発の終了に伴い収束傾向
- ・ ルールエンジンを活用したソリューション型ビジネスにも着手

# 中期事業計画 トリプル30プラン

2015～2017年度（平成28年3月期～平成30年3月期）3ヵ年 中期事業計画トリプル30プラン

① 継続的かつ安定的な事業拡大

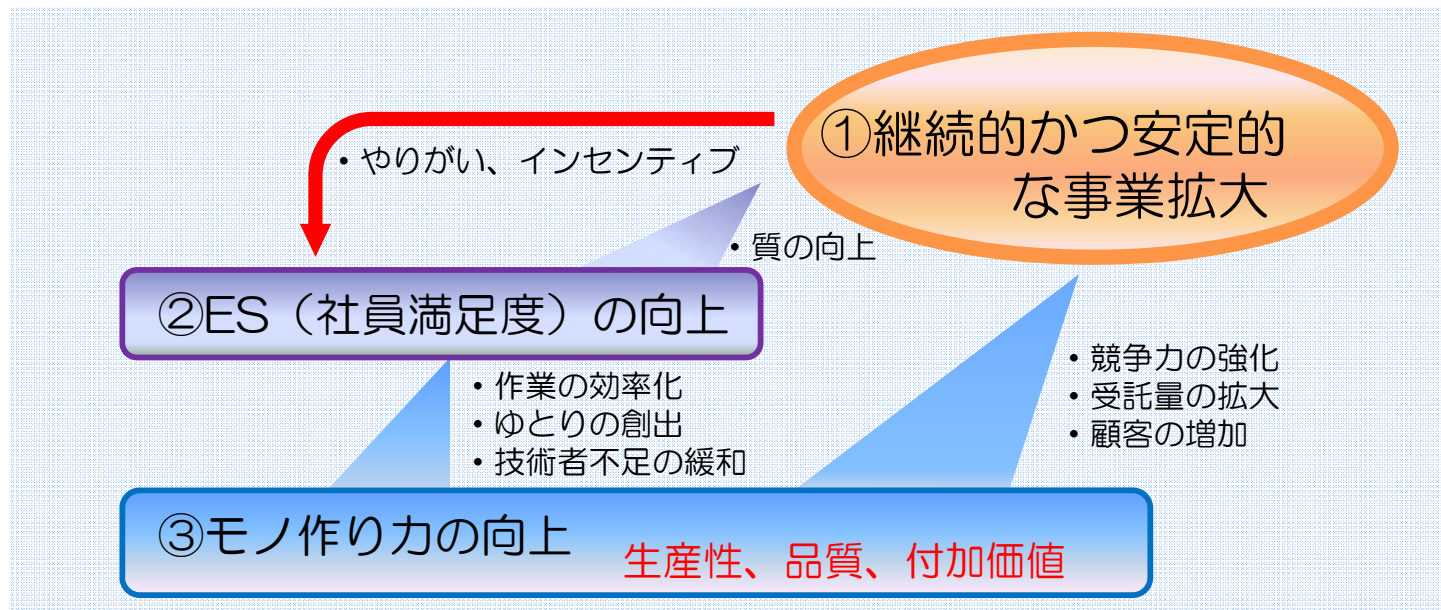
売上高 **30億円UP**、営業利益率10%の達成

② ES（社員満足度）の向上

社員満足度**30%向上**で、社員活性化と質の向上

③ モノ作り力の向上

生産性・品質**30%向上**で、付加価値向上



新たな価値を顧客とともに創造できるベストパートナーを目指す



# 中期事業計画 トリプル30プラン

## ① 継続的かつ安定的な事業拡大

売上高 **30億円UP**、営業利益率10%の達成

継続的かつ安定的な事業拡大を実現して、存在感のあるSlerとなり、売上高30億円増、営業利益率10%以上、ROE15%以上を達成する。

### Slerとしてプライム案件獲得強化

- 新規エンドユーザの開拓強化
- 既存エンドユーザからの受注拡大
- 顧客自主事業案件の積極的獲得
- 一括請負案件受注の推進
- 案件規模の拡大

### 経営基盤の強化・安定

- 継続的な保守・エンハンス案件の拡大
- 大手顧客からの受注拡大
- コアビジネス（金融）領域の強化
- 非金融分野売上げ拡大
- AMOなどの戦略保守の積極的提案

### 要員確保と流動性の向上

- 自主開発案件の獲得強化
- 人材確保の強化
- コアなパートナー企業との連携強化
- オフショア・ニアショアの活用推進

### 新規ビジネスモデルの創出

- BRMS(Business-Rule Management System)製品を利用したソリューション製品の展開（保険料計算、医務査定など）
- サービス提供型ビジネスモデルなどの検討

現在 BRMSとしては、韓国イノルールズ社製 *innoRules* を展開

## ② ES（社員満足度）の向上

社員満足度 **30%向上**で、社員活性化と質の向上

働き方の改革で労働環境の改善と活気のある職場作りを行うことで、ES（社員満足度）の30%向上を実現し、会社競争力の源泉で唯一の資産である社員の活性化と質の向上を図る

### ワークライフバランスの充実

- 働き方の改革で労働時間の適正を図る
- 計画的な長期休暇取得で有休取得率向上
- 管理職による適正な労働環境の維持推進

### 社員モチベーションの向上

- 社員のニーズの継続的把握と改善
- 社員同士の交流の推進
- 福利厚生制度の充実

### 組織・人材の活性化

- 裁量労働制と成果主義型賃金制度の浸透でやりがいを持てる組織・風土づくり
- 分科会活動など自主的活動の推進による仲間意識・助け合い精神の醸成
- スクラム開発などの開発手法導入によるチームワークの強化

### 自立型人材育成の強化

- 技術・業務系資格取得の推進
- 育成ロードマップに沿った社内研修の充実
- 自己啓発推進とゆとり時間の創出

## ③ モノ作り力の向上

生産性・品質 **30%向上**で、付加価値向上

優れた競争力と付加価値を実現し、顧客ニーズを正確に捉えたモノ作りやサービスの提供が出来る会社を目指して、生産性・品質が30%向上する改革を行い、売上高30億円増、社員満足度30%向上の推進エンジンとする。

### 生産性・品質改革

- 品質および生産性阻害要因の把握、分析と対策
- 要件定義・基本設計工程の設計力強化
- 自動化ツールやフレームワークの適用
- 社内開発標準策定とプロジェクトへの適用
- 品質・生産性向上策を顧客やコアなパートナー企業と共同で取り組み
- 大規模プロジェクトを推進できるマネージャ・リーダーの育成

### 仕損プロジェクトの防止

- 商談、見積り検討の強化
- プロジェクト診断による状況の把握
- プロジェクト状況やリスクの可視化・監視
- PMOの強化

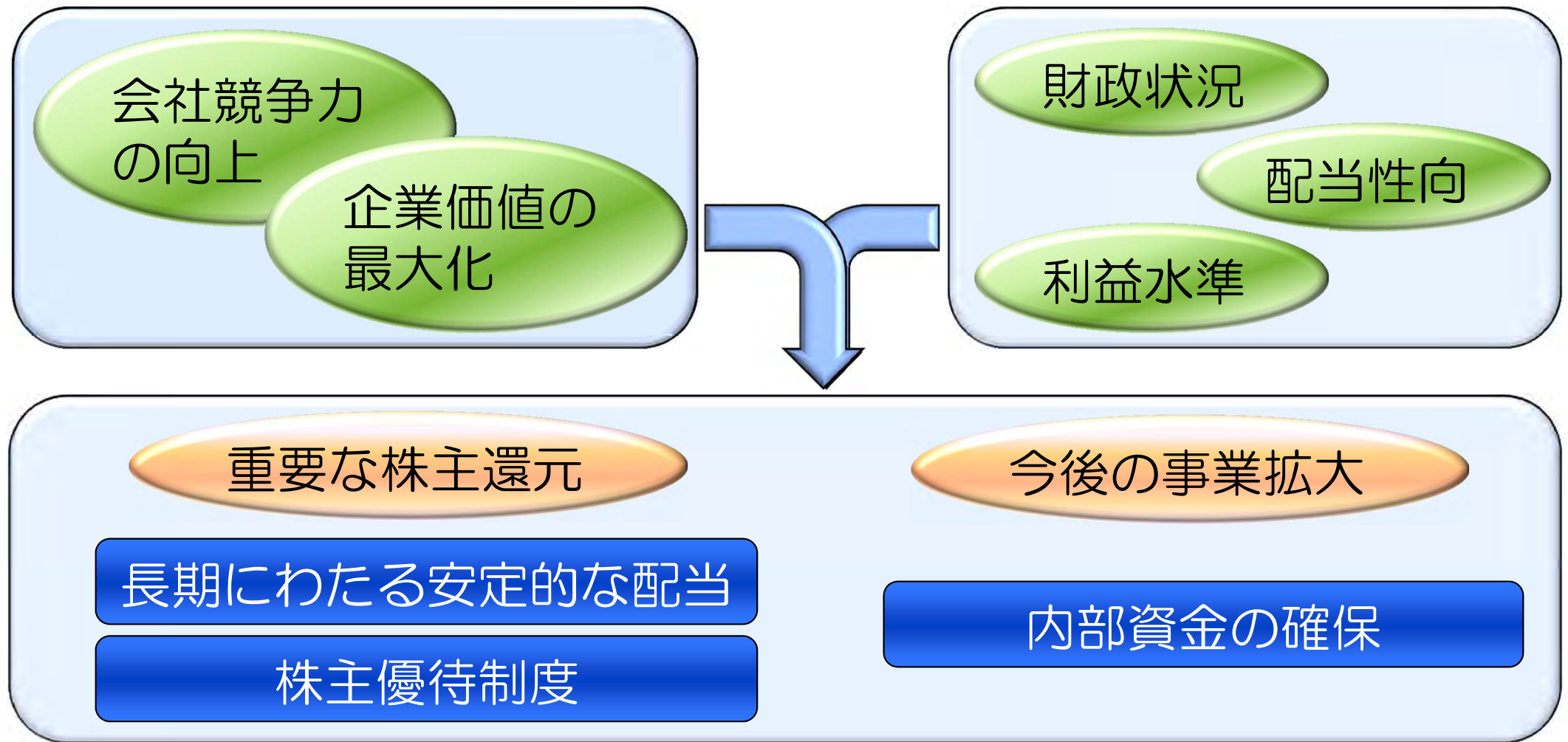
社長直轄の専門部署（プロジェクト監理室）  
による活動の強化

### 事務効率化

- 社内事務フローの見直しとシステム化推進
- 社内ペーパーレス化推進

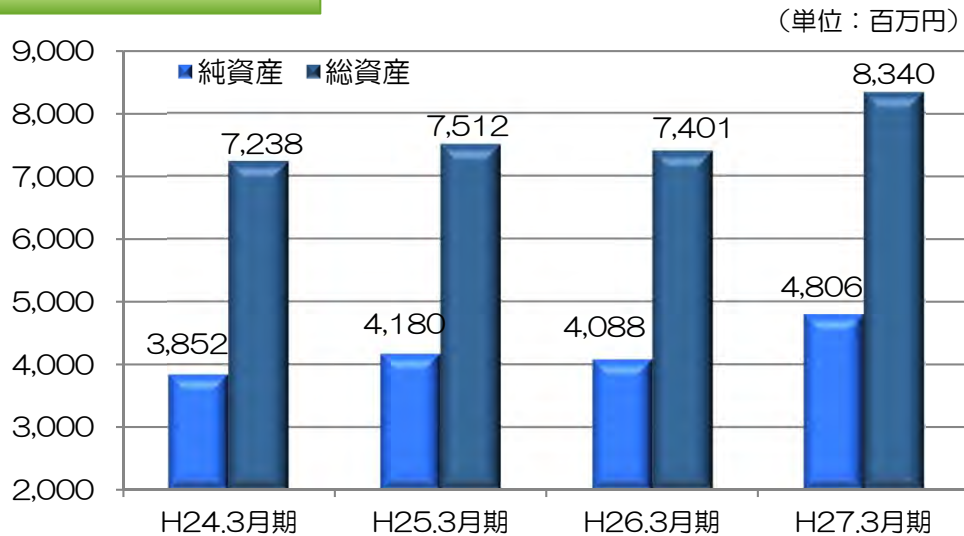
# 株主還元

# 株主還元の方針



- 企業としての競争力の向上と企業価値の最大化の追求
- 長期かつ安定的な株主還元と会社の事業拡大に向けた内部資金の確保の観点から配当性向は30%程度を目安として配当を実施する方針

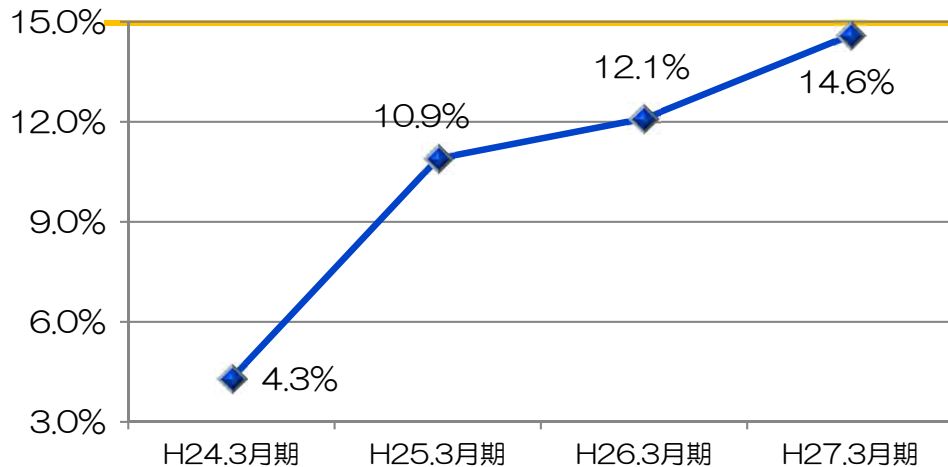
## 純資産・総資産



(単位：百万円)

|     | H24.3月期 | H25.3月期 | H26.3月期 | H27.3月期 |
|-----|---------|---------|---------|---------|
| 純資産 | 3,852   | 4,180   | 4,088   | 4,806   |
| 総資産 | 7,238   | 7,512   | 7,401   | 8,340   |

## ROE(自己資本当期純利益率)



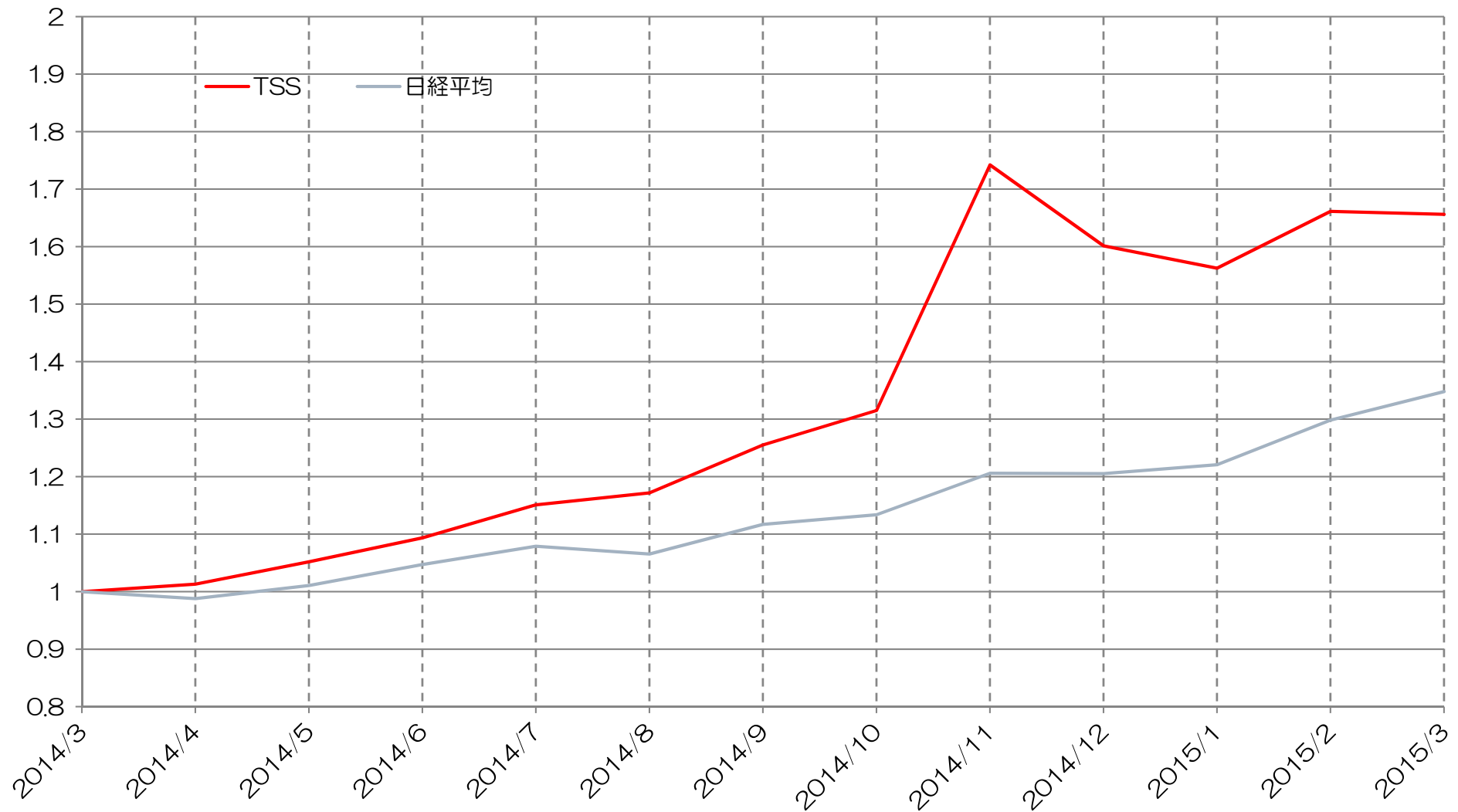
|     | H24.3月期 | H25.3月期 | H26.3月期 | H27.3月期 |
|-----|---------|---------|---------|---------|
| ROE | 4.3 %   | 10.9 %  | 12.1 %  | 14.6 %  |

ROE(自己資本当期純利益率) 目標：15%以上



# 当社株価と日経平均株価の伸び率の比較

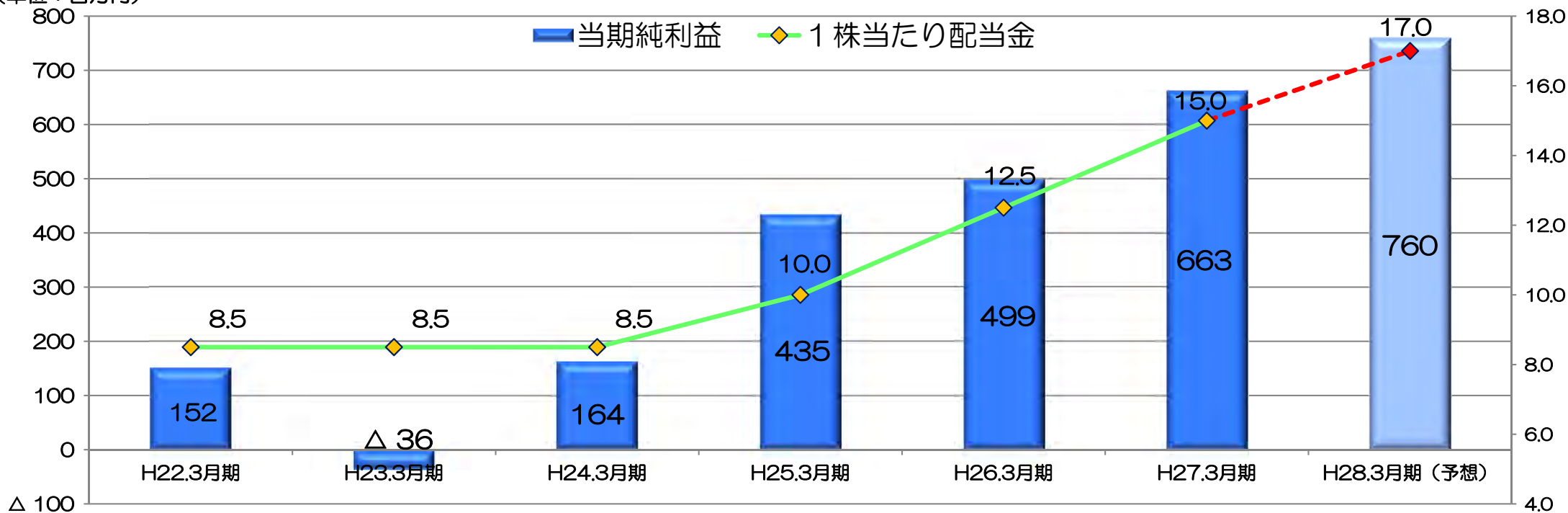
2014年3月の株価を1とした場合の伸び率の比較



# 当期純利益・配当金・配当性向

(単位：百万円)

(単位：円)



|             | H22.3月期       | H23.3月期       | H24.3月期       | H25.3月期        | H26.3月期                               | H27.3月期 | H28.3月期<br>(予想) |
|-------------|---------------|---------------|---------------|----------------|---------------------------------------|---------|-----------------|
| 配 当 金<br>※1 | 8.5円<br>(17円) | 8.5円<br>(17円) | 8.5円<br>(17円) | 10.0円<br>(20円) | 12.5円<br>(25円：普通<br>配当22円＋記<br>念配当3円) | 15.0円   | 17.0円           |
| 配 当 性 向     | 73.0%         | -             | 70.3%         | 31.1%          | 32.9%                                 | 27.4%   | 27.1%           |
| 純資産配当率      | 2.9%          | 3.0%          | 3.0%          | 3.4%           | 3.9%                                  | 4.1%    | —               |

※1.H26.3月期以前の配当金は、平成26年12月1日の1：2の株式分割に伴う影響を遡及して調整しております。（）括弧内の金額は実際の配当金額です。

## 対象となる株主様

- ・ 毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された2单元（200株）以上を保有していただいている株主様

## 株主優待の内容

- ・ クオカード1,000円分  
（200株以上、年1回）

## 送付時期

- ・ 毎年12月上旬  
（第2四半期報告書送付時に同封してご送付）



# お知らせ

# 当社ホームページのご案内

当社ホームページURL <http://www.tss.co.jp/>

または 東邦システムサイエンス で **検索**



トップページ

当社に関するさまざまな情報を発信しています。

是非当社ホームページにアクセスしてください。



IR情報ページ

最適なシステムソリューションを  
提供する高信頼度企業！

皆様におかれましては、ご支援のほど、  
よろしくお願い申し上げます。



株式会社 東邦システムサイエンス



## \* 本資料についてのご注意

本資料は、平成27年3月期の業績および今後の業績見通し、経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に記載されている株式会社東邦システムサイエンスの将来予想に関する事項は、現時点における情報に基づき判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。

なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。